

(仮称)やまと芸術文化ホール 基本構想への提言
目次案と検討内容について

・芸術文化ホールの必要性

1. 芸術文化活動を取り巻く状況

2. 全国的な芸術文化施設の傾向

(1) 施設面での傾向

(2) 事業運営面での傾向

3. 近隣のホール設置状況

(1) 設置状況

(2) 稼動状況

(3) 文化活動状況

4. 芸術文化ホールの必要性

(1) 市内既存文化施設の現状

(2) 市内文化活動状況

(3) 市民のニーズ

(4) 芸術文化ホールの必要性

(5) 大和市の文化振興への展望

現在実施中のアンケート調査結果の反映
大和市のさまざまな状況を調べる。芸術文化関連の状況だけでなく、人口分布、地理的条件、交通、企業、公共施設、商業など市民生活にかかわるあらゆる項目を明確にする。

次回報告予定のアンケート結果や、大和市の市勢に関する統計資料、各施設の利用状況等の分析を行いたい。

ホールの必要性を再確認する。

(1)～(3)について検証しながら、ホールそのものの必要性、その他の機能の可能性について検討したい。

現状の文化状況だけで判断するのではなく、オープン後の10年、20年後の将来像を描く。

本来、文化振興マスタープランや条例が先行して策定され、それを受けて施設が計画されるべきである。

今回は上位計画がないため、本計画の中で、将来的な文化政策検討のきっかけとなるよう、本項目で必要性について述べたい。

「居心地の良さ」と「風格」の両立を図る。
観客あるいは観客となる一般市民のための施設づくりと事業計画を考える。
舞台芸術に限定しない劇場と、その結果として地域活性化をめざした運営を行う。
すべての市民が来館する仕組みづくりを考える。

提案された意見を検討のコンセプトと捉えて全体の検討を行い、提言にまとめる前に提案を受けた意見をおさらいしながら、コンセプトとしてまとめなおし、確認を行いたい。

・基本コンセプト

1. 基本コンセプト

・事業計画の基本方針

1. 事業計画の基本方針
2. 事業実施の目的

新たな事業を起こすことにより、新たな芸術文化活動に発展させる可能性も生まれる。
良質なものを低料金で提供する。
新劇場が新たな観客を開拓する。

・管理運営計画の基本方針

1. 組織計画の基本方針
2. 広報宣伝計画
3. 管理運営規則
4. 収支計画

「市民ニーズ」や市内の文化活動の状況などを参考に、望まれる事業の分析や新たな事業の可能性について検討したい。

・施設計画の基本方針

1. 施設計画の基本方針
2. 望まれる立地条件
3. 部門構成
4. 各部門計画

長期的な視点で施設計画を考える。

「文化振興への展望」と修繕・改修計画を重要な前提条件と位置づけ、長年愛され親しまれる施設としてのあり方を検討したい。

来館のしやすさ、周辺施設との機能補完など、望まれる立地条件の検討を行う。

～ の検討を受けて必要な機能・面積を明らかにしながら、都市計画的な視点と併せて敷地検討を行いたい。

ホール以外の複合機能の検討を行う。

来館者にとって居心地が良く、日常的なにぎわいにつながる複合機能を併せ持つべきで、その具体的な機能について検討したい。

市民の芸術文化活動拠点として最適な客席数と施設構成を検討する。
ホールの性格づけを明確にする。また、グレード設定も明確にする。

「市民ニーズ」や「文化振興への展望」を総合し、ホールの性格付けから客席数を検証したい。